

## 2023年度 国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	2	年次／コース	高校1年生／GAGS
使用教科書	東京書籍『精選言語文化』						
副教材など	尚文出版『言語文化の基礎学習』 第一学習社『ダブルマスター古典文法+漢文句形』 第一学習社『ダブルマスター古典文法+漢文句形 準拠ノート』 桐原書店『読んで見て覚える 重要古文単語 315』 京都書房『新訂 国語図説 五訂版 (デジタル)』						

## 1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <p>GAGS コースの授業では、「主体的、個別的、協働的な学び」を特に重視します。授業は予習や準備を前提として進めます。クラス全体の学びを最大化させるためにも、必ず期限までに完了させてください。特に、古典を読み親しむためには、文法等の知識の習得が欠かせません。教科書、文法書、図説を駆使して議論に参加できる準備をしてください。なお、現代の文学的文章の分野は、二年生時の「(学)国語演習①」「(学)GS国語」で扱うこととします。</p> <p>●コンピテンシーについて</p> <p>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

## 2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <p>古典の基礎を定着させるために、古文単語テストやリフレクションを通して自分の理解が不十分な箇所を見つけてください。また、理解が不十分な箇所をそのままにするのではなく、家庭学習として復習に取り組むことで理解を深めてください。知識事項が多い授業なので、繰り返し演習することでそれらをより確実に定着させていくことが重要です。</p> <p>●家庭学習において</p> <p>古文単語テストに向けて予習をしてください。また、授業で扱う文章の予習として単語の意味調べや文法事項の確認を課すことがあります。</p>
---

## 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の、文化の継承、発展、創造を支える働きを理解している。</li> <li>古典文法の用言・助動詞を修了し、古文単語は必要語彙数の約半分を修了する。また、漢文句法は再読文字、受身、使役等を修了する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えることができる。</li> <li>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</li> </ul>	<p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</li> <li>● 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>● 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</li> </ul> <p>我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。</li> <li>● 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</li> </ul> <p>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p>	
評価方法	<p>【成果物】〈 〉は略</p> <p>パフォーマンス課題 〈パ〉、授業・家庭学習の成果 〈成〉</p> <p>リフレクション 〈リ〉</p> <p>【ペーパーテスト】</p> <p>定期考査 〈考〉、単元テスト 〈単〉、小テスト 〈小〉</p>	<p>【成果物】</p> <p>〈パ〉、〈成〉、〈リ〉</p> <p>【ペーパーテスト】</p> <p>〈考〉、〈単〉、〈小〉</p>	<p>【成果物】</p> <p>〈パ〉、〈成〉、〈リ〉</p>
<p>上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。</p>			

#### 4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	【古】 「児のそら寝」 動詞の活用 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 説話の読解</li> <li>◆ 歴史的仮名遣い</li> <li>◆ 動詞の活用</li> </ul>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の古文単語の意味を把握している。</li> <li>・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。動詞の活用形と活用の種類を答えることができる。</li> <li>・古文と現代文の違いとつながりについて理解している。</li> </ul> <p>B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えている。</p> <p>C：進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</p>	<p>〈成〉 〈リ〉</p> <p>〈単〉 〈小〉</p>

<p>【漢】 訓読の基本 故事成語 「矛盾」 「推敲」 (5時間)</p>	<p>◆ 訓読の基本（送り仮名、返り点、再読文字、書き下し文） 短い漢文の読解</p>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・漢文訓読の基本を理解している。書き下し文に直すことができる。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 C：進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。 ・進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。</p>	
<p>一学期 パフォーマンスWEEK</p>		○	○	○	<p>《現代の国語》分野「発想を広げて課題を見つける」に関する課題設定</p>	
<p>【古】 『枕草子』 「ありがたきもの」 形容詞・形容動詞 (4時間)</p>	<p>◆ 随筆の読解 形容詞・形容動詞の活用</p>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・本文中の古文単語の意味を把握している。形容詞・形容動詞の活用形と活用の種類を答えることができる。 ・古文と現代文の違いとつながりについて理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言</p>	<p>〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉</p>

						<p>語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>C：進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、作者のものの見方や感じ方、考え方を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。</p>
<p>【古】</p> <p>『徒然草』</p> <p>「九月二十日のころ」</p> <p>助動詞①</p> <p>(5時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 随筆の読解</li> <li>◆ 助動詞①(き・けり・つ・ぬ・たり・り・る・らる・す・さす・しむ・ず)の意味・活用</li> </ul> <p>『枕草子』と『徒然草』の違い</p>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の古文単語の意味を把握している。</li> <li>・助動詞①の活用形と活用の種類・文法的意味を答えることができる。</li> <li>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> </ul> <p>B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>C：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。</p>	
<p>【漢】</p> <p>寓話</p> <p>「借虎威」</p> <p>使役・受身</p> <p>(4時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 寓話の読解</li> </ul> <p>使役形・受身形の理解</p>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の漢文語彙の意味を把握している。</li> <li>・使役形・受身形の句法を理解し、書き下し文に直したり現代語訳を作ったりすることができる。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</li> </ul> <p>B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> </ul> <p>C：進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考えようとしている。</p>	

	一学期期末考査		○	○		主に『枕草子』『徒然草』『借虎威』から出題。	
2 学 期	【古】 『伊勢物語』 「東下り」 助動詞② (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語の読解</li> <li>助動詞②(べし・む・むず・じ・まじ・らむ・けむ・らし・まし・めり)の意味・活用</li> </ul> <p>和歌の修辞(序詞・掛詞・縁語・折句)の理解</p>	○	○	○	<p>A: 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中の古文単語の意味を把握している。</li> <li>助動詞②の活用形と活用の種類・文法的意味を答えることができる。</li> <li>和歌の修辞(序詞・掛詞・縁語・折句)について理解し、それらが用いられている箇所を指摘することができる。</li> </ul> <p>B: 章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>和歌に着目しながら、男たちの心情の変化を理解する。</li> </ul> <p>C: 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。</p>	〈成〉〈り〉 〈単〉〈小〉
	【漢】 絶句と律詩 【古】 和歌 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢詩の解釈</li> <li>漢詩の形式ときまり</li> <li>和歌の解釈</li> <li>それぞれの和歌・漢詩の傾向や表現方法の違い</li> </ul>	○	○	○	<p>A: 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詩中の古文単語・漢文語彙の意味を把握している。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> <li>和歌の形式や修辞、漢詩の形式やきまりについて理解している。</li> </ul> <p>B: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> <li>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言</li> </ul>	

					<p>語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>C：進んで漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。</p> <p>・進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。</p>	
二学期 パフォーマンスWEEK		○	○	○	《現代の国語》分野「調べた情報を説明資料にまとめる」に関する課題設定	
【古】 「土佐日記」『馬のはなむけ』 『帰京』 助動詞③ (7時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記物語の読解</li> <li>助動詞③(なり・たり・たし・まほし・ごとし)の意味・活用</li> </ul>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・本文中の古文単語の意味を把握している。助動詞③の活用形と活用の種類・文法的意味を答えることができる。</p> <p>・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えている。</p> <p>・隴化表現や冒頭と末尾の照応など、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>C：進んで本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作品に込められた意図を考えようとしている。</p>	〈成〉〈リ〉 〈単〉〈小〉
【漢】 史話 『晏子之御』 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>史話の読解</li> </ul>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・本文中の漢文語彙の意味を把握している。正確に書き下し文や現代語訳を作成することができる。</p> <p>・『史記』の成立時期や著者・紀伝体について理解している。</p> <p>B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識を基に的確に捉えている。</p> <p>・作品や文章に表れているものの見方、感じ</p>	

					<p>方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</li> </ul> <p>C：進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。</p>		
	二学期期末考査		○	○	○	主に『馬のはなむけ』『帰京』『晏子之御』について出題。	
3 学 期	【古】 「平家物語」『木曾の最期』 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 軍記物語の読解</li> <li>◆ 文法事項の復習</li> </ul>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の古文単語の意味を把握している。助動詞の活用形と活用の種類・文法的意味を答えることができる。</li> <li>・軍記物語に特有の表現などについて理解している。</li> </ul> <p>B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・軍記物語特有の表現の仕方、表現の特色について評価している。</li> </ul> <p>C：進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。</p>	〈成〉 〈リ〉 〈考〉 〈単〉 〈小〉
	【漢】 『論語』 『孟子』 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 思想文の読解</li> <li>漢文知識の復習</li> </ul>	○	○	○	<p>A：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の漢文語彙の意味を把握している。正確に書き下し文や現代語訳を作成することができる。</li> <li>・『論語』『孟子』の成立時期や著者について理解している。</li> </ul> <p>B：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</li> </ul> <p>・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの</p>	

					<p>見方, 感じ方, 考え方を深め, 我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>C: 進んで自分のものの見方, 考え方を深め, 学習課題に沿って, 『論語』を読んで, 孔子の学問観・人間観・政治観について考えたり, 『論語』の注釈を読んで, 自分の考えを伝え合ったりしようとしている。</p> <p>・進んで孟子の比喩表現を多用した論理展開について理解し, 学習課題に沿って, 孟子の思想に興味を持とうとしている。</p>
問題演習 (4時間)	問題演習	○	○	○	<p>A: 本文中の古文単語の意味を把握している。助動詞の活用形と活用の種類・文法的意味を答えることができる。</p> <p>B: 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 展開などについて古典文法等の知識に基づいて的確に捉えている。</p> <p>C: 積極的に解答を組み立て, 自身の知識の定着度や思考力について分析し今後の学習の方針を立てようとしている。</p>
学年末考査		○	○		主に『木曾の最期』『論語』『孟子』から出題。